



みはらふくし情報 10月号

平成29(2017)年
10月1日発行

— 三原市社協各地域センターからのお便り —

本部・三原地域センター(三原市総合保健福祉センター4階) 電話 (0848)63-0570 FAX (0848)63-0599
本郷地域センター(三原市本郷福祉センター) 電話(0848)86-3607 FAX(0848)60-6064
久井地域センター(三原市久井保健福祉センター)電話(0847)32-7101 FAX(0847)32-5011
大和地域センター(三原市大和保健福祉センター)電話(0847)34-1214 FAX(0847)35-3020

日中の日差しがすこしずつ柔らかなものとなり、過ごしやすい季節となりました。農業が盛んな地域では、稲刈りや収穫にお忙しいことと思います。今月号は、10月から開始の共同募金運動のご紹介と、最近増えつつある認知症の方を支える「三原市認知症家族やすらぎ支援事業」についてご紹介します。

赤い羽根 共同募金運動がはじまりました！ 久井地域センター

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まりました。三原市内では三原市共同募金委員会(事務局:社協)が主体となって「じぶんの町を良くするしくみ」を全国統一スローガンに、運動が展開されます。終戦の混乱期に開始された運動も今年で70周年を迎え、これまでに社会福祉活動に多大な成果をもたらしました。

三原市全体では昨年度13,406,823円の募金が寄せられ、市内の福祉活動に7,640,823円が助成されています。久井地域では966,285円をお預かりし、この内631,285円は久井町内の小・中学校、福祉団体、地域福祉事業費に充てられ、写真のように「身近な福祉」の財源として大変喜ばれています。今年も、三原・本郷・久井・大和各地区で運動を展開してまいりますので、お力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

平成28年度募金実績 単位:円

区分	三原市全体	内)久井地区
戸別募金	8,504,550	484,400
街頭募金	535,549	—
法人募金	1,563,000	189,000
学校募金	67,084	29,298
職域募金	769,188	212,642
イベント募金	362,802	50,945
大口募金	337,330	—
合計	13,406,823	966,285

県域特別助成金 三原市:5,766,000円
内)久井地区:335,000円

広島県共同募金会が県域の福祉活動に助成。三原市社協へは常設サロン助成金・ほっとは〜と事業費として助成されています

地域助成金 三原市:7,640,823円
内)久井地区:631,285円

三原市共同募金委員会が申請に基づき各地区の福祉活動に助成しています。高齢者・障がい児・児童青少年・住民全般の各福祉活動に助成されています。



久井中ボランティアによるメッセージカード



バースデーカードボランティアこでまりによる絵手紙



久井小・久井中による学校募金



念願だった サロンカルタ共同募金を財源に完成!!

認知症家族やすらぎ支援事業

～ 介護のなかで、ひとときのやすらぎ ～ 三原地域センター

社協では認知所のある人を在宅で介護する人に休息の時間を提供する「三原市認知症家族やすらぎ支援事業」を市民のみなさまのご協力を得て実施しています。

市では今年3月現在で認知症のある高齢者数を市内約4,800人と推計しています。これは高齢者の約6人に1人が認知症のある人であり、身近な病であることが伺えます。在宅で生活される認知症高齢者は年々増えることが予測されますが、一方で1世帯あたりの人数は減少し、高齢者ひとり暮らし世帯は約5,200世帯、夫婦2人とも高齢者の世帯は約5,500世帯にのぼっています。

認知症の有無に関わらず、在宅での介護は、介護者の身体的・心理的な負担は大きく、高齢者のみで構成される世帯が増加する中、介護者自身の体力の低下、他に頼る家族も遠方に住むなど介護者を取り巻く環境は厳しくなることが予測されます。

社協では、このやすらぎ支援事業により、在宅で認知症のある高齢者を介護する家族の負担軽減を図っています。

支援内容は、やすらぎ支援員が、ご自宅を訪問し、

「認知症高齢者のお話し相手と見守り」を行い、家族は介護から離れ、休息の時間を取るのが可能です。利用されるご家族からは、「支援員は認知症の特性を理解し、上手に話しを聞いてくれるので、本人もとても喜んでいる」や「少しの間でも、介護から開放されてリフレッシュできる」、「介護の悩みを支援員が聞いてくれるのでホッとする」といった声が寄せられています。

やすらぎ支援員は、認知症の基礎知識や心地よい傾聴の方法を学んだ市民の方々に、9月末現在97人が支援員登録しています。認知症のある人と介護する家族を支援するこの事業は市民のみなさまのご協力により成り立っています。

三原市認知症家族やすらぎ支援事業 概要

対象：在宅で認知症高齢者を介護する家族
時間数：1回2時間までで、月間10時間を上限
利用料：1時間あたり100円
申込：ケアマネジャー、高齢者相談センター
社協各地域センター

お役立ち情報

10月31日は何の日？ ハロウィンのかぼちゃ

近年、日本でも「ハロウィン」という言葉をよく聞くようになりました。今月はハロウィンの時期に合う工作をご紹介します。サロンのみなさんで作ってみませんか？



<作り方>

- ①風船をふくらませて紙コップと風船をテープで留めます。
- ②ボンドを水に溶いたもので半紙を貼り付けます。
- ③半紙を3重ほど貼り付いたら花紙（オレンジ色）を貼ります。
- ④花紙が乾いたら、顔をつけます。
- ⑤風船を割って、穴を整えたら完成！中に小さなライトを入れても素敵！！

材料

- ・風船
- ・半紙
- ・花紙（オレンジ色）
- ・画用紙（黒や緑）
- ・紙コップ
- ・テープ
- ・ボンド



①・②



③



④・⑤

引用ホームページ
<https://ameblo.jp/hirosenaika-dsc/entry-12209223562.html>